

第2回町議会定例会

平成30年第2回町議会定例会が、6月14日に開かれ、19日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、承認1件、議案3件、について審議しました。

おもな内容は、次のとおりです。

七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の一部改正に伴い、夜間看護業務に従事する職員の手当支給額が引き上げられることから条例の一部を改正するものです。

支給額1回
6800円→7300円

◆町税条例の一部を改正する条例

生産性向上特別措置法の施行に伴い、平成三十年度地方税法の改正に盛り込まれていた中小企業が行う一定の先端設備投資の固定資産税を三年間ゼロにすることができるとの特例が創設されたことから、長万部町税条例の一部を改正するもの。

◆一般会計補正予算(第二号)

平成三十年度の一般会計予算に歳入歳出それぞれ四千四百八十三万二千円が追加され、予算総額四十七億四千六百七十七万二千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が道支出金や繰越金などの追加、歳出は、衛生費などの追加です。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第一号)(専決処分)

平成二十九年度の歳出に対して歳入が不足となったことから地方自治法施行令第百六十六条の二の規定により平成三十年度の歳入を平成二十九年度に繰上げて補填するための補正予算を地方自治法第百

木幡町長の
行政報告

= 平成30年6月14日 =

各会計
決算見込み

一般会計は、一億三千百三十四万二千円の繰越しとなりました。

歳入は、明許繰越分を除いた予算に対して三千六百三十三万五千円の増で、町税が予算に対し二千六十三万六千円の増となり、歳出の実質の不用額は、九千五百二十万七千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、十三万七千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、六千四百二十九万九千円の赤字となりました。平成二十九年度の赤字は、平成三十年度の歳

入を繰り上げて補てんすることとなるため、五月三十一日付けで平成三十年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、三千四百八十四万四千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成三十年度に精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、七百一十一万四千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比四万六千立方メートル増の二十二万四千立方メートルとなり、ガス売上は一千四百六十五万七千円の増収となりました。

事業収支では、ガス販売量の増や経費の節減等により、

四百九万三千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金三億九千三百八十八万七千円から当年度純利益を差し引きしますと、当年度未処理欠損金は三億八千九百七十九万四千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比四千立方メートル減の六十万一千立方メートルとなり、給水収益は百七十五万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により八百五十一万二千元の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金はございませんで、当年度未処分利益剰余金は八百五十一万二千元となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は十九%の増加となり、入院収益では一千六百八十八万三千円の増収、外来患者数は五%の減少で、外来収益では六百三十一万二千円の減収となりました。

支出では、前年度に比べ医療費用が七百四十万円の増加、医療外費用が四百五十一万円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から三億円の補助金を繰入れたものの、期末決算では二千七百三十九万三千円の当年度純

損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金三億五千五百三十八万五千円に加えますと、当年度未処理欠損金は三億八千二百七十七万八千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に係資料を提出いたします。

ふるさと納税

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成二十九年度の寄付状況は、八一五三件、一億六千二百三十三万二千四百円となり、前年と比べ四六七三件、六千五百七十七万一千一円の増となりました。

また、平成二十九年度では、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として合計一千九百三十九万三千八百四十四円を充当し、年度末現在の残高状況は一億九千六百十二万一千八百二円となっております。

今後は返礼品の登録品数を増やすとともに、特産品の全国PRを図りながら、さらなるふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

東京理科大学関係

本町と大学との地方創生連携事業である再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトにつきましては、植物工場で三月から生産を開始している高糖度トマトが順調に生育・収穫されており、味・糖度共に優れた品質で生産できることが実証されております。

また、長万部産の高糖度トマトとして都市圏のデパートなどでの試食PRを実施し、五月には役場ロビーにて町民向け試食PRも行いました。が、約二百五十人の町民の方々が試食され、果物のように甘くて美味しいとの評判をいただいております。

今後は、ハウスの増設など設備の拡充による生産拡大と、ブランディング・プロモーション、マーケティングにより、販路の確保・拡大を図るための準備が進められているところであります。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

まちづくりアクションプラン

長万部町まちづくりアクションプランにつきましては、長万部まちづくり推進会議が中心となつて取りまとめ作業が進められてまいりましたが、本年三月に策定作業が完了し、三月二十九日に長万部まちづくり推進会議から町に對しての提言として、アクションプランが提出されたところであります。

このアクションプランは、二〇三〇年度末の新幹線開業を見据えて、官民が一体となつてまちづくりを進めていくための行動指針であり、長万部町の現状と課題を踏まえ、交通アクセス、まちなみ形成、観光振興の三分野、六プロジェクト、三〇施策からなり、開業効果を最大限に発揮させるため、周辺自治体とも連携しながら、今年度から開業が見込まれる二〇三〇年度まで様々な取り組みを着実に進めてまいります。



北海道新幹線関係

四月に新たに立岩トンネルの豊津工区が発注され、六月現在、町内では三本のトンネル工事が行われております。

立岩トンネルのルコツ工区では、本抗へ到達するための横抗の掘削が行われており、四月からは国縫地区において発生土の運搬作業が開始されているところであり、内浦トンネルの静狩工区においても本年末に掘削が開始される予定となつており、これに伴い、五月に静狩地区において工事説明会が開催されたところであります。

また、明かり区間についても、鉄道・運輸機構から町に對し新幹線と町道の交差協議が進められており、六月八日、九日には長万部町学習文化センターにおいて、町民向けの北海道新幹線事業説明会が開催されるなど、工事に向けての準備が本格化しつつあります。

町といたしましては、先月には議長とともに鉄道・運輸機構本社などを訪問し、長万部町まちづくりアクション

プランの説明と新幹線関連工事の町への委託を要望してきたところであり、今後、ますます本格化する新幹線工事が円滑に行われますよう、関係機関と密接に連携しながら各種取り組みを進めてまいります。

老人福祉関係

高齢者や心身に重度の障がいを持つ方が、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しておりますタクシードライバーは、四月十日から役場窓口で、十三日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。五月末までの対象件数は八一八件で、交付件数七〇四件、八六・一%の交付率であります。

また、九月十七日の敬老の日に合わせて、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、老人福祉センターを九月十日から十二日までと十四日から十七日までの計七日間と、町内にある公衆浴場についても助成を行い、九月十一日から十七日までの七日間を、それ

ぞれ無料開放する予定であります。

児童福祉関係

四月二日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員六十名に対し五十七名の入所となっておりますが、六月途中に三名が入所し六十名となる予定であります。

一時保育事業の四月の利用は、三歳未満児が三名で延べ十三日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、一・二年生が六名で延べ四十二日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ五十三組で百二十二人の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学一年生二名、二年生六名、三年生一名、四年生一名、五年生三名の計十三名の入所となっております。

また、子ども・子育て支援新制度の施設型幼稚園に移行した、長万部マリア幼稚園の今年度の入園児童数は、利用定員六十名に対し四十二名の入園となっております。

地域会館関係

老朽化した国縫振興会館と国縫消防分団機械器具置場の機能を併せ持つ施設としての、国縫振興会館等建替工事につきましては、十一月三十日の工期で施工中であります。国縫振興会館の敷地内に設置する遊具・ベンチにつきましては、国縫自治会がコミュニティ助成事業として実施するため、この補助金について本定例会に補正予算を提案いたしております。

南栄町老人憩の家屋根修繕工事は、七月十三日の工期で施工中であります。

生活環境関係

平成二十九年度の本町のゴミ収集総量は、一千九百九十四トンで、前年度と比較して四十八トンの減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、一千六百七十三トンで、前年度と比較し二トンほど減少いたしました。

海岸漂着物対策

「ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年二回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

昨年回収した静狩地区及び旭浜地区の海岸漂着物の処理と、本年度実施予定の静狩地区・旭浜地区・長万部地区の海岸漂着物の回収・処理につきましては、北海道の補助事業を活用して実施することから、本事業に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多

照により生育は順調に経過しており、五月十五日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、平成二十八年度から牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、四月二十七日に共立牧場へ百九十五頭、五月七日に藤岱牧場へ八十八頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、五月十七日に百十三頭の入牧が終了し、合計三百九十六頭が入牧しております。

生乳生産量は、一月から四月まで三千二百三十二トン、乳代は二億九千六百八十五万円となり、前年に比較し八十七トンの減となり、乳代では二百六十一万円の減となっております。

林業関係

森林環境保全整備事業の環境林整備事業で実施する共立地区の地拵・植栽事業三ヘクタールは、四月二十七日に着工し、五月三十一日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木百本の寄贈があり、四月二十九日に同法人主催の植樹祭で、町民約百七十人の参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

有害鳥獣駆除対策

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な

被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き、鳥獣被害防止対策事業を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後とも関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

漁業関係

基幹産業である平成二十九年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、成育不良や自然災害による養殖施設が被害を受けたことにより、一万二十二トンとなり、前年度に比較し五百八十五トンの減で、生産額では二十九億九千四百九万円となり、前年度と比較し十二億五千六百七十一万円の減となっております。

また、EU向けホタテ貝出荷は四百四十二トン、生産額

では一億三千七百九十五万円となっております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年二月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約六十六%、変形及び欠殻貝が約二十五%、へい死等の死貝が約九%となっており、例年と比較し外部異常や斃死率が高くなっておりますので、引き続き関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成二十九年度の漁獲量は約三百八十六トンで、前年度に比較し約百四十トン減少いたしました。単価上昇により、漁獲額は三億三千八十四万円となり、六千九百四十九万円の増となっております。

商工観光 労政関係

中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところではありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、新たな観光

資源の発掘・情報発信を目指すとともに、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山四町地域による広域連携事業を中心とした活動・取り組みを一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、道内外での各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。さらに町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ、町内の観光情報を提供しております。昨年度から特産品売り場が拡大され、観光客のみなさんの利便性の向上を目指しております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、緩やかに回復した景気の安定と人手不足などを受けた企業

の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の三月卒業生の就職率は一〇〇%と、前年度に続き安定を保っております。

建設関係

建築事業では、町営住宅シスターハウジング緊急通報システム更新実施設計業務委託が、七月三十一日までの期限で実施中であります。これは、十五年経過して老朽化している緊急通報システムの機器類を含めた更新のための実施設計を行うものであります。

また、町営住宅中部団地非常灯交換工事を六月二十二日までの工期で、同じく町営住宅中部団地の安全柵修理工事を八月三十一日までの工期で実施中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきまして、計画的に実施しております。

土木事業では、今年度実施予定の町道本町一号线道路改良工事に係る騒音・振動がもたらす影響の有無を把握するため、周辺家屋に対して事業損失防止調査を実施しており

ます。さらに、電柱等移設作業を実施中であり、これらの移設が完了した後に、道路改良工事を発注する予定であります。

また、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、長万部中央跨線橋修繕調査設計業務を平成三十一年二月二十八日までの委託期間で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を十一月十六日までの工期で発注しております。また、道路補修用機械の購入につきまして、四月十一日に購入契約を締結し、四月二十三日に納入されております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園は四月十三日に、長万部公園は四月二十七日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。

その他、公園管理用乗用芝刈機は四月十六日に購入契約を締結し、五月七日に納入されております。

公共下水道事業

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設で受入れて処理する汚水処理施設共同整備事業のMICS棟建設工事につきましては、第二回町議会臨時会での建設工事委託に関する協定締結の議決をいただきましたので、日本下水道事業団との協定が成立し、完成期限を平成三十二年三月三十一日までとした本工事を着工しております。

ガス事業

ガス本支管改良工事の、本町一・三号線工区は七月三十日まで、中山大通線工区及び北三号線工区は十月三十一日までの工期で、それぞれの工事を順調に施工中であります。

病院事業

平成二十八年度に新公立病院改革プランを策定し、病院経営の改善に努めておりますが、国や道の進める医療構想に沿った形となる病院事業を

目指すため、また、町内唯一の病院としてのあるべき姿を考えるために、協議会を設置し、将来的な経営形態や病院機能、建物等についての検討を重ねることといたしました。厳しい経営状態が続いておりますが、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指し、健全経営に努めてまいります。

教育関係

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者二十九人から申請があり、百四十一万三千七百十九円を四月二十七日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。

長万部高等学校通学費補助は、国縫・中ノ沢・黒松内町及び森町の通学者十四人から申請があり、百四十八万三千四百二十円の支給決定をしております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生五名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

シャクシャイン古戦場跡碑につきましては、平成二十八年度に建立し十月二十八日に除幕式を実施しておりますが、この度、新ひだかアイヌ協会において新しいシャクシャイン像のデザインが決定されましたので、本町の碑に埋め込みするデザインについてもこれを採用し、肖像画埋め込みに係る費用について本定例会に補正予算を提案いたしております。

消防関係

今年五月末現在の火災件数は二件で、うち、建物火災が一件、野火が一件発生しております。

救急件数は百四十四件、搬送人員は百三十八人で、急病が七十九件、交通事故が五件、一般負傷が十二件、その他転院搬送などが四十八件で、うち、ドクターヘリによる搬送が四件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、女性消防団員による街頭啓発や事業所団員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施

設の防火査察を実施し、高齢者世帯における防火指導においては、住宅用火災警報器の適正設置や早めの更新を呼びかけました。

大型水槽付消防車の整備事業につきましては、三月十九日に本車両が納車となり、四月一日付けで緊急消防援助隊に登録されるとともに運用を開始しております。今後、大規模な災害等により派遣要請があつた場合は、緊急消防援助隊特殊装備小隊の大型水槽車として、被災地等へも出動いたします。

消防団の状況につきましては、四月一日付けで二名が入団され、現在の団員数は、基本団員が百十一名、女性団員が十九名、機能別団員が二十名で、条例定数の百五十人にまで充足いたしております。

消防団員の安全装備品整備事業につきましては、安全靴百十一足を八月三十一日の納期で契約し発注いたしております。



(有料広告)

社団法人全日本不動産協会員 北海道知事免許【渡(1)第1136号】

株式会社 佐々木建業

長万部町字平里99-25
TEL 01377-2-4555 FAX 01377-2-5869

●土地 ●建物 ●売買 ●賃借 ●仲介代理 ●一般建築 ●屋根板金

売りたい方、買いたい方、
不動産のことならお任せください！

